

ホスピス外来担当のお知らせ

ホスピス外来は午前診察のみです。新患予約は1日2人、再診予約は1日3人までとなっています。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 診察時間 9:30~12:30		奥野		奥野		

お問い合わせは 0748-32-5211 (病院代表) 地域連携室まで

今年度『こもれびの会』休会のお知らせ

例年ですと、前年度にホスピス希望館から旅立たれた患者様のご家族様を対象に、『こもれびの会』というご遺族様の会を、グリーンホテルでささやかながら行わせていただいています。しかし今年度は、新型コロナ感染の対策で、『こもれびの会』を中止させていただくことになりました。大切な方と別れてから月日の浅いご家族様にお集まり頂き、故人を偲び、悲しみの気持ちを共有し分

かち合うことで、ご家族様が少しでも前に向かって歩き出すことができれば、との思いから開催しています。今年度は、対象のご家族様に『こもれびの会』の休会をお知らせする手紙を郵送し、体調や心の不調を強く感じておられる方があれば、ホスピス希望館が相談の窓口になれることをお伝えしています。

(看護師 信濃)

2019(令和元)年度 利用状況

- ・年間入院患者数 219名
- ・年間退院患者数 217名
- ・転入 21名
- ・病棟稼働率 85.1%
- ・平均在院日数 22.5日
- ・在宅復帰率 32.6%

2019(令和元)年度 ホスピス賛助会収支報告

〈収入の部〉	合計	6,576,334円
〈支出の部〉	合計	194,407円
〈次年度繰越〉	合計	6,381,927円

賛助会のご案内

賛助会のお知らせ

ホスピスのよりよい運営のために、皆様からのご支援をお願いしております。ご支援下さった方々には、ホスピス通信・研修参加案内・催事・活動参加案内などをお送りいたします。ご案内する催しなどにご自由にご参加いただけます。



賛助会への入会

振込み用紙にて会費の振込みをもって、入会とさせていただきます。

賛助会費(年会費)

個人 一口 1,000円
法人(団体) 一口 10,000円
いずれも何口でも結構です。

お問い合わせ先

〒523-8523 近江八幡市北之庄町492
tel.0748-32-5211 (代表)
担当: 澤谷まで

編集後記

新型コロナウイルスの感染予防として面会制限が行われ長期化しています。今回は少しでもホスピス病棟の様子やスタッフの思いをお伝えできればと思い作成いたしました。1日も早いコロナの終息を願うとともに、いつでも面会・外出泊できる日が訪れることを願っています。



ホスピスボランティア募集!!

お花のお世話、ティーサービス、お話し相手、料理、お菓子作り、行事のお手伝いなど、一緒にケアに参加して下さる方を探しています。学生ボランティアも歓迎!!



連絡先 0748-32-5211 (代表) 担当: 久城まで

ヴォーリス記念病院ホスピス 2020年11月1日発行

希望館だより

第24号

発行元 ヴォーリス記念病院 〒523-8523 近江八幡市北之庄町492



Vories

ホスピス希望館



ホスピス長
奥野 貴史

2006年10月に産声をあげたホスピス希望館、節目となる15年目がスタートしたところです。世の中、どこもかしこもコロナ禍の影響を強く受けており、希望の芽が摘み取られそうな勢いです。

ホスピスも例外ではありません。いつでもどこでも面会が可能です。外出、外泊はいつでも可能です。スタッフのみならずボランティアさんと生活を支えます、この三つのお約束が今、制限されています。とても心苦しいです。それでも、患者さん、ご家族さんのご理解、ご協力を頂いて何とか日々のケアをしています。ただ辛いことばかりではありません。コロナ禍の影響は、在宅医療の推進という新しい芽を産みだしました。4月以降、訪問診療を希望される患者さんが増えたのです。それに伴い、地域の訪問看護ステーションをはじめ、在宅医療を支えるスタッフの皆さんとの関係も、今まで以上に深くなりました。在宅ホスピスの推進を目指す私たちホスピススタッフは、この芽がやがてホスピスの大きな幹になることを願って、育てていこうと思います。人間万事塞翁が馬といいますが、きっとなるようになるのでしょう。患者さん、ご家族さんにとってより良い選択肢は何か、このことを優先して考えていけば、自ずと道は開ける、そう思っています。



ホスピス師長
久城 亜也子

新型コロナウイルス感染症が拡大し、世界規模で危機的状況が生じています。日本でも終息の目処がたらず、不安な毎日でもあります。ヴォーリズ記念病院でも、政府から全国の都道府県に発令された「緊急事態宣言」を受け面会制限を実施しています。ホスピスでも面会制限をせざるを得ない状況です。その中で患者さんやそのご家族、病院スタッフの安全を守りつつ、面会以外でのコミュニケーション支援をおこなっています。直接会えないなら、少しでも顔を見て話せるように①病棟のタブレット端末を利用してリモート面会②テレビ電話などでのコミュニケーション支援③ホスピスの立地を利用し窓越し面会の支援をおこなっています。限られた時間を家族や友人と共に過ごす時間は、患者さんにとって大きな力であり慰めでもあります。できる範囲で面会制限を緩和して、一緒に時間が取れるよう今後も様々な工夫をおこなっていきたくて考えています。また、面会制限がある中での入院とは別の方法として「在宅支援」もおこなっています。体験入院(4泊5日)をおこない、その後在宅での生活ができるよう院内外での多職種が連携をして患者さんやそのご家族を「在宅支援」しています。在宅療養支援病院として、患者さんやそのご家族に寄り添い、「その人らしさ」を大切に全人的な看護を提供できるようこれからも精進していきたくて考えています。

普段ならできる事ができない

コロナ禍の入院生活の中で...

大きくなったね
抱っこしたいなあ~



ガラス越しでの面会をしています



絵のプレゼント
おばあちゃんに

面会を制限
しています

「限りある残された時間を一緒に過ごしたい」
「そばにいて少しでも寂しさやつらさをわかってあげたい」



乾杯!
(ノンアルコール)



輪投げ



七夕祭り、
みんなの願いが
かないますように

感染予防をしながらの行事

お誕生会



アロマ入り
入浴剤作り



チャプレン(病院付き牧師)より



チャプレン
中村 信雄

コロナの感染防止対策のため、通常の営みを変更せざるを得ませんでした。面会の制限、ボランティア活動の中止等。何気なく過ごしてきた日常の中にささやかな幸せがあったことを教えられました。感染拡大の不安、様々な葛藤を抱えながら過ごす私たち職員ですが、少しでも安らぎと慰めがあるようにと願い、職員ボランティアを募り花壇の維持に努めて参りました。水遣りと一緒にしてくださった患者さんもおられます。その水の中には虹がかかっていました。涙のときにも虹の約束があるかのように。会いたくても会えないときだからこそ、私たちをつなぐ絆を神様が守ってくださるようお祈りしております。

医療ソーシャルワーカーより



ソーシャルワーカー
入退院支援係
(病・病診連携課)
谷口 佐世子

地域医療支援部の医療ソーシャルワーカーと看護師で入院中及び地域の患者さんが、適切でよりよい社会生活、療養生活が送れるよう、医療・保険・福祉などの統合的支援を行います。在宅医療支援病院として、チームで地域包括システムの推進に取り組みます。なんでもお気軽にご相談ください。ご相談をご希望の方は地域医療支援部までお電話頂るか、本館1階の地域医療支援部受付に直接お越しください。

Newスタッフ



2019.10~
2020.10



看護師
船崎 満里子

2月からホスピスへ6年ぶりに戻ってきました。久しぶりのホスピスは、懐かしさを感じながらも、また新鮮な気持ちで日々過ごさせていただいています。皆様に安心して過ごしていただけるように頑張ります!



看護師
渡辺 淳子

入院されている方がホッとした気持ちになり毎日をご過ごしていただけるようなケアを目指しています。よろしくお願いいたします。



看護師
長岡 真美

以前とちがう病院で働いていた時に、ホスピスに興味を持ちました。まだまだ分からないこともありますが、少しでもお力になれば嬉しいです。



看護師
大橋 あゆみ

12月よりホスピスで働いています。患者様・ご家族の皆様へ充実した優しい時間を提供させていただけるように、少しでもお力になればと思います。



看護師
山東 藍

昨年11月から入職しました。まだまだ未熟ですが、少しでも患者さん・ご家族のお役に立てるよう頑張っていきますので宜しくお願いします。



看護師
山本 かおり

8月からホスピスで働かせていただいています。ご縁あってお会いできた患者様やご家族様が一日一日を大切に過ごせる様お手伝いさせていただきます。よろしくお願いいたします。



看護師
辻本 まい

8月からホスピス病棟に配属されました。皆さまのお心に寄り添ったケアを提供できるよう日々努めます。よろしくお願いいたします。